

7 オーバーロードとクラス変数の活用

7.1 オーバーロードとクラス変数の活用のソースリスト

7.1.1 テンプレート(MainActivity.java) の①の箇所に Main050View を入力してください。

7.1.2 ClassGroup.java を書き換えてください。

7.1.3 Main040View.java をコピーして Main050View.java を新規作成してください。

ファイル名: src/jp/edu/mie/ClassGroup.java

```
package jp.edu.mie;
. . .
class CustomerCard
{
    . . .
    double shoeSize;//靴のサイズ(cm)
    static int nextId = 1001; //次に割り当てる ID 番号

    public CustomerCard() {}

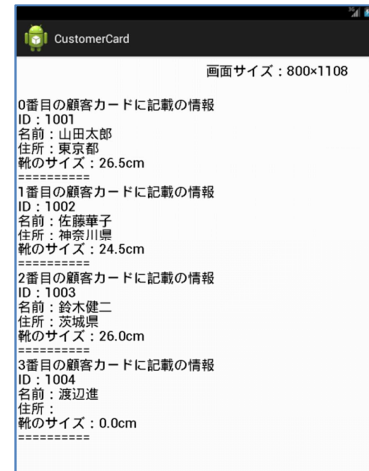
    public CustomerCard(String name)
    {
        this(name, "", 0.0);
    }

    public CustomerCard(int id, String name, String address, double shoeSize)
    {
        . . .
    }

    public int printInfo(Canvas canvas, Paint paint, int y, int INTERVAL)
    {
        . . .
    }
}
```

ファイル名: src/jp/edu/mie/Main050View.java

```
package jp.edu.mie;
. . .
public class Main050View extends View
{
    public Main050View(Context context)
    {
        . . .
    }
    protected void onDraw(Canvas canvas)
    {
        . . .
        cards[2] = new CustomerCard("鈴木健二", "茨城県", 26.0);
    }
}
```



```
cards[3] = new CustomerCard("渡辺進");  
    . . .  
}  
}
```

7.2 オーバーロードとクラス変数の活用のソースリストの解説

Main050View クラスは、CustomerCard クラスのインスタンスを生成するときに引数で ID 番号を指定しなくなっただけで、大きな変更はありません。

一方、Customercard クラスではコンストラクタに変更がありました。

クラス変数を使って、ID 番号を自動で割り当てるようにしています。これによって、誤って重複する ID 番号を付けてしまう心配がなくなりました、こうして、「問題が起きるようなプログラムを作れないようにしている」のです。